

システム管理の基礎

2単位 3年(後期)

石田 基広・准教授 / 社会創生学科

【授業目的】 システムとし特に情報処理システムを管理運用するための基礎知識と技術を身に付ける。特に現在必要とされるネットワーク環境下の情報処理システムに関する基礎知識と技術を扱う。

【授業概要】 情報システム (Unix ネットワーク環境) の管理の基礎を学ぶ。

【キーワード】 情報処理システム, サーバ管理, サーバ運用, *Linux*, *Unix*

【先行科目】 『プログラミング演習』(1.0), 『情報システム特論 I』(1.0)

【関連科目】 『ネットワーク論』(0.5), 『データベース基礎論』(0.5), 『ネットワーク最適化論』(0.5)

【履修上の注意】 実務的な内容が強いこの講義は情報処理機器の基礎知識を必要とします。計算機概論とプログラミング基礎演習(C言語)を受講しておいてください。情報システムにはPC-Unix(Linux)を用います。平行で開講か、続いて開講のネットワーク論やデータベース基礎論, ネットワーク最適化論で役立つ実際の経験ともなります。受講者が多くPCを用いての演習に無理がある場合は講義内容を変更する場合があります。

【到達目標】 Unix OS に近い環境を持ち, 現在注目される OS である最新の Linux を使い, ユーザ管理, DNS や Mail サービス環境が構築でき, その環境を維持・管理する基礎知識と技術を身につける。

【授業計画】

1. システム理解のための基礎認識
2. システム導入実習 I(Windows)
3. システム導入実習 II(PC Unix の現状)
4. システム導入実習 III(PC Unix のインストール)
5. システム設定実習 I(PC Unix の基礎)
6. システム設定実習 II(PC Unix の利用)
7. システム設定実習 III(PC Unix の環境設定)
8. システム管理実習 I(DNS の導入)
9. システム管理実習 II(DNS の設定)
10. システム管理実習 I(DNS の管理)
11. システム管理実習 II(http サーバーの起動)
12. システム管理実習 III(smtp サーバーの起動)
13. システムセキュリティー実習 I(Unix の Shell)
14. システムセキュリティー実習 II(情報管理)
15. システム保守実習(トラブル対策)

【成績評価】 実習・実験を重視する。特にサーバの起動・設定等し, それが出来たかどうかや実習中の取り組み姿勢などを平常点として加味する。従い期末試験による成績評価は行わない。

【再試験】 実習が中心であり行わない。

【教科書】 ソーテック社, Fedora(フェドラ)11 で作る最強の自宅サーバー (変更の可能性あり)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219060>

【連絡先】

⇒ 石田 (ishida-m@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL